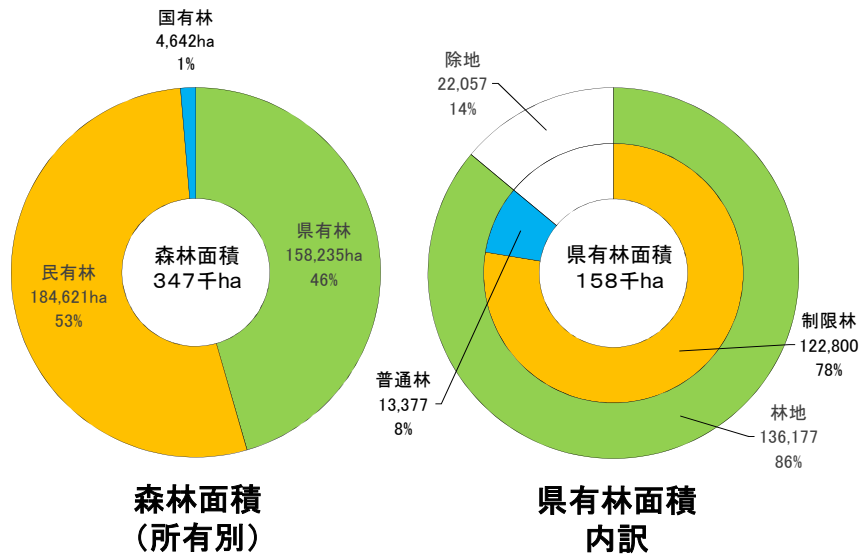
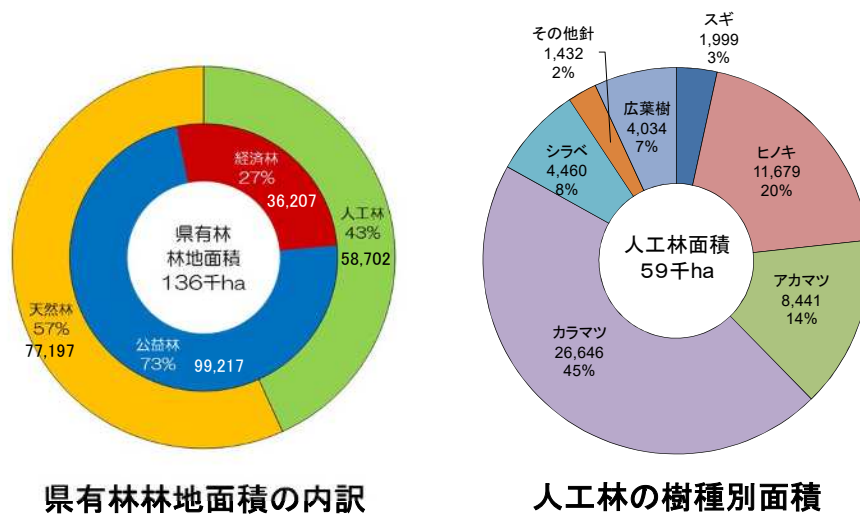


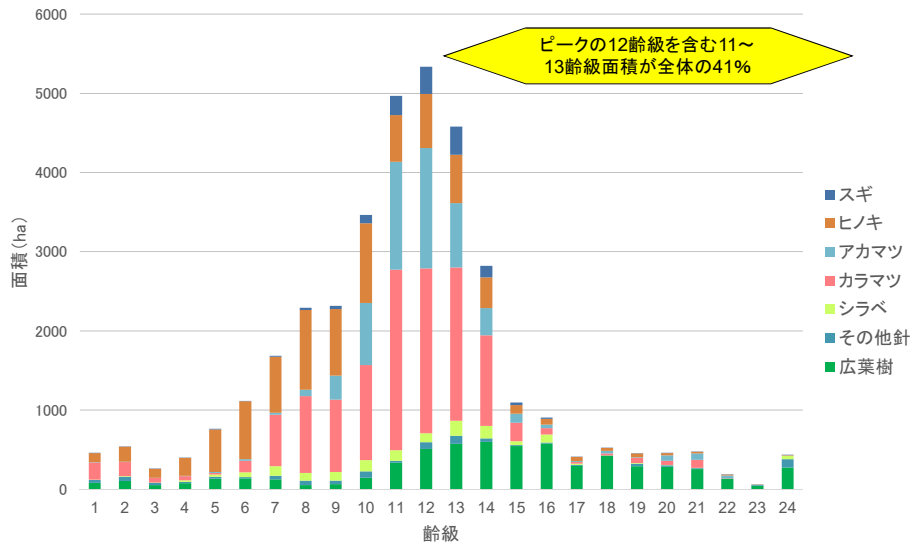
県有林の概要



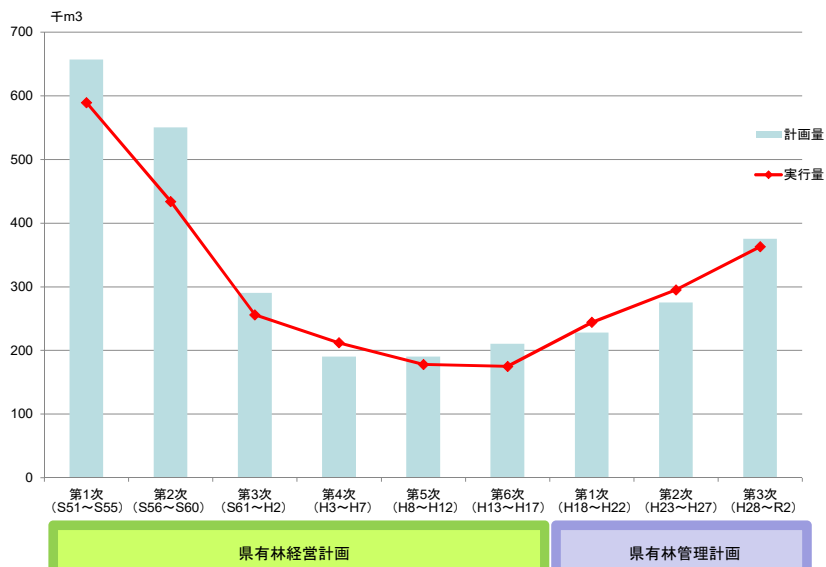
県有林の概要



経済林の齢級別面積



計画及び収穫量の推移



※計画及び実行量は、計画前期5箇年分

県有林管理計画

• 根拠法令：県有林野管理規程

<管理の目的 第2条>

県有林の管理は、国土保全その他森林の公益的機能を確保しつつ、森林資源の質的向上及び重要な林産物の持続的な供給を図り、もって県民の福祉を増進することを目的とする。

<計画期間 第3条>

10年間（5年ごとに作成）

現行の県有林管理計画と主な取り組み

期間：平成28年度～令和7年度

【基本方針】

■国際基準に基づく森林管理の推進

-県有林が有する多様な森林の機能を充実強化する森林づくりの推進-

■森林資源の多面的利活用の推進

-「材」・「エネルギー」・「場」をキーワードとした

県有林の多面的利用の推進-

- 国際基準に基づく森林づくりを推進することにより、県有林の多様な森林機能を充実強化し、FSC認証材の販売や観光・レクリエーション利用の場などに活用していくことで、「やまなし森林・林業振興ビジョン」の実現に寄与

取組み事例 1：2020東京大会を契機としたFSC認証材の販売促進

新国立競技場



ピレージプラザ



県産FSC認証材のオリンピック関連施設での活用や認証材製品登録事業者と連携した販売促進活動を通じてブランド化を推進

取組み事例 2：森林空間を活用した都市住民との交流や機会の創出

魅力ある森林スポットの発信



クライン・ヴァルトにおける
都市住民との交流
ツリークライミング



トレッキング



魅力的な森林スポットの発信や、企業・団体と連携した新たな森林利用の場を提供し、都市住民との交流機会を創出

第3次県有林管理計画の主な取り組み事項

<多様な森づくりの推進>

事業等	計画量（前半期）	実行量（見込み）	実行率
針広混交林化への誘導	2,248ha	1,502ha	67%

<FSC認証材の供給>

事業等	計画量（前期分）	実行量（見込み）	実行率
収穫量	375千m ³	365千m ³	97%

・実行量は、H28～R1年度実績値、R2年度見込値により算出

<観光・レクリエーション利用の推進>

事業等	計画量（前期分）	実績	達成率
自然を目的として本県を訪れる観光客の人数	5,788千人	6,950千人	120%

・山梨県観光入込客統計調査報告書の自然を楽しむことを目的とした観光入込客の実人数（R1年度実績）

第4次県有林管理計画の検討

期間：令和3年度～令和12年度

検討の方向性：

- ・FSCが定める国際基準に基づく森林管理水準の更なる向上
- ・やまなし森林整備・林業成長産業化推進プランへの寄与



- ・国際基準に基づく森林管理の推進
- ・林業の成長産業化実現への寄与

検討テーマ1：国際基準に基づく森林管理の推進

F S Cが定める国際基準に基づく環境に配慮した適切な管理のもと、社会的な利益にかなない、かつ経済的にも持続可能な森林管理の推進に向け、現在の課題についての対応方策を検討

- 台風の大型化や記録的な豪雨の増加
→ 水土保全機能を強化していくための森林管理方策について検討
- 森林利用に関する社会的ニーズへの対応
→ エコパーク等における自然環境の保全と持続可能な利活用の方策について検討
- 環境に配慮した持続可能な森林経営の推進
→ F S C認証材の利用拡大に向けたF S C認証の普及促進方策について検討

検討テーマ2：林業の成長産業化実現への寄与

林業の成長産業化実現に向け、充実した森林資源を有効に活用するための取組みについて検討

- 利用期を迎えた人工林資源が充実
→ 計画的に路網を整備しながら、主伐と収獲間伐により、木材を安定供給するための整備量や伐採量について検討
→ 再造林における低密度植栽や下刈回数の削減、伐採から再造林までを連続して行う一貫作業システムによる効率的な施業の実施方策について検討
- 広葉樹資源の利用に対する関心の高まり
→ 充実した広葉樹資源の利用を進めるため、伐採や更新の方法、需要者に供給していくための仕組み等について検討